

担当教員 森 明子				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DRSc03	授業形態 演習	単位 2
キーワード anthropology, methods, the social		対象学年 全学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 ヨーロッパ文化研究演習 I				
科目名称：英語 Seminar I (European Studies)				
科目の概要：日本語 現代人類学とソシアルなるものの意味				
科目の概要：英語 An Anthropology of the Contemporary and the Meaning of the Social				
科目の目的： 人類学研究の視角と方法論を批判的に再考し、自らの民族誌研究を相対化してとらえる視座を確保する。さらに、人類学研究として社会をとらえるアプローチについて、自らの調査研究をふまえて議論する。				
学習成果・習得する技能や知識： 人類学の接近法について、関連する文献を参照しながら、批判的に議論する能力を養う。				
成績評価方法・基準： 授業への参加貢献度によって評価する。準備学習（30%）、議論への参加度（30%）、発言の内容（40%：問題設定 15%、問題背景説明 15%、自己の意見説明 10%）				
授業内容： 15回の演習授業において、以下の内容について議論する。1.フィールドワークと民族誌、2.文化、3.社会、4.性と血、5.カースト・階級・部族・国民、6.人々とモノ、7.人々と神々、8.人々と自己、9.進行中の人類学、10.ライティング・カルチャー以後、11.今日的人类学、12.現代の人類学、13.新しい規範と形を求めて、14.時間性、15.現代人類学のデザイン				
日程： 火曜日 13：30～15：30				
実施場所： 国立民族学博物館大学院演習室				
使用言語： 日本語				
その他使用言語： 場合によって英語				

準備学習：

教科書の次回テーマ部分を予習し、そこに言及されている関連文献についても基本的な情報を集めておくこと

関連科目・履修条件：

文化人類学に関する基礎的な知識を有し、かつ民族誌研究のフィールドワーク経験があること

教科書・必読書：

Paul Rabinow et al. *Designs for an anthropology of the contemporary*, Duke University Press, 2008.

John Monaghan & Peter Just *Social and cultural anthropology: A very short introduction*, Oxford University Press, 2000.

参考書・その他の教材：

教科書に言及されている諸文献

備考：

地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可